

行事案内

財団行事の詳細はホームページ等でお知らせします。

発掘された関東の遺跡 2017 詳細は主催者のホームページに掲載中です。

内容：当財団の発表等はありませんが、神奈川県からは小田原市中里遺跡が展覧しています。
日時：【発表会】2017(平成29)年7月9日(日)
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール 墨田区横網 1-4-1
申込：不要、入場無料
アクセス：JR総武線両国駅西口徒歩3分、都営地下鉄大江戸線両国駅A4 出口徒歩1分
主催：全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業実行委員会
※なお、同会場5階では、6月3日(土)～7月23日(日)の期間「発掘された日本列島 2017」が開催されています(有料)。

調査成果発表会・調査成果展示会

内容：平成28年度に実施した発掘調査の成果を写真やパネルなどで報告します。展示会では各遺跡から出土した遺物をご覧いただき、成果発表会当日は、職員による解説を行う予定です。
日時：【発掘調査成果発表会】2017(平成29)年7月8日(土)10:00～16:00(受付9:30～)
【発掘調査成果展示会】2017(平成29)年6月27日(火)～7月17日(月・祝)
9:00～17:00(横浜市歴史博物館の開館時間に則る)
会場：【発掘調査成果発表会】横浜市歴史博物館 講堂
【発掘調査成果展示会】横浜市歴史博物館 2階常設展示室前回廊 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
申込：不要、常設展示室前回廊までの入場は無料です。
アクセス：横浜市営地下鉄線「センター北」駅より 徒歩5分
共催：横浜市歴史博物館

考古学特別研究講座

内容：かながわ考古学財団の調査から見た茅ヶ崎市七堂伽藍跡と題して講座を行います。
日時：2017(平成29)年8月12日(土)9:50～15:30(受付9:30～)
会場：神奈川県埋蔵文化財センター研修室 横浜市南区中村町 3-191-1
申込：詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。

公開セミナー

内容：弥生時代をテーマとして計画しています。詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします
開催日：11月23日(木・祝)を予定。

遺跡見学会予定

内容：当財団が調査している遺跡の現地見学会を催します。7月中に伊勢原市西富岡・向畑遺跡、秦野市蓑毛小林遺跡の見学会を予定しています。詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。
開催日：西富岡・向畑遺跡／7月1日(土) 予定、蓑毛小林遺跡／7月15日(土) 予定

はっくつちょう 考古学財団 発掘帖 No.27

考古学財団 公益財団法人かながわ考古学財団情報誌 2017(平成29)年第1号



1号墳 玉類出土状況

2号墳 耳環出土状況

1・2号墳(南西から撮影)



1号墳(南から撮影)

伊勢原市内に所在する上粕屋・子易遺跡では、墳丘部分が削平された古墳(円墳)2基が発見されました。
1号墳は石室の下部と前庭部、周溝が見つかりました。石室の規模は、奥壁から入口までが約4.7m、幅約1.2mを測り、前庭部は外に向かって「ハ」の字状に石が積み重なっていました。周溝は前庭部の石積み先端部から始まっています。玄室から平瓶、玉類、刀子と思われる鉄製品が出土しています。2号墳は、石室の一部と周溝が発見され、石室は奥壁と側壁の一部、周溝は良好に残っており、規模は外径約17.5m、内径約13.5mを測ります。石室から近世陶磁器と共に、耳環が1点出土しました。古墳の年代は、出土遺物から6世紀末～7世紀初頭と考えられます。

伊勢原市 上粕屋・子易遺跡
古墳の横穴式石室を2基発見



お問い合わせ

(公財)かながわ考古学財団本部
(神奈川県埋蔵文化財センター3階)
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162

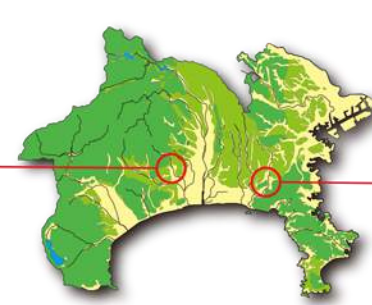


発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。



考古学財団発掘帖
No.27 2017(平成29)年第1号
平成29年6月16日発行

編集・発行：(公財)かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
TEL: 045-252-8689 FAX: 045-261-8162
ホームページ: <http://www.kaf.or.jp>



本号で紹介する遺跡



遺跡位置図(1/25,000)

次ページのコラムに続きます

近年では伊勢原市・秦野市を中心として調査が続いてる中、今号は伊勢原市内の調査と横浜市での発掘調査について、最新の調査成果をお知らせします。

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。

発掘コラム 《古墳時代 水田跡の遺構か》伊勢原市 上粕屋・和田内下遺跡

上粕屋・和田内下遺跡は、扇状地の中の小河川に挟まれた中州状の地形に立地しています。周囲より低い位置にあって遺跡内の地下水位が高いため、木などの有機質遺物の遺存状態が良好でした。



木製梯子出土状況



古墳時代畦状遺構

24cmくらい…。
女の人かな～？

今回の調査では、古墳時代の水田である可能性が高い遺構が見つかりました。地形に合わせて形づくられた不定形の耕作域が確認され、その範囲からは列状に盛土をした畦状遺構が見つかりています。地盤の緩い箇所では、畦を作る際に杭を打ち込んだり横木を渡したりして補強を行っており、それらの中には壊れて使えなくなった木製農具や梯子など建築部材を再利用したものもありました。また、耕作土の上からは人の足跡も確認されています。用水路と水田の間に設けられた柵状遺構は、周囲を盛土と藎を重ねて補強したもので、水流の調整のために使用された設備だと考えられます。

耕作土に残されたヒトの足跡



H5号杭列
農具再利用状況

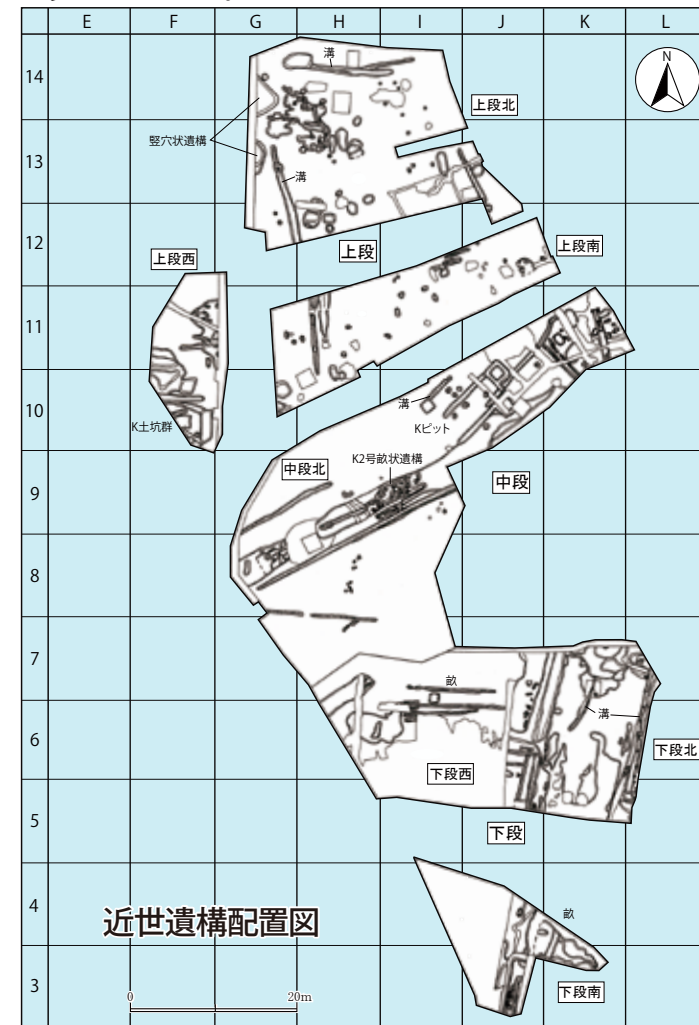
鋤(すき)が壊れて杭に使ったみたい。
木材が似てるからもともと、
1本だった？！



柵状遺構

発掘コラム 《縄文時代～江戸時代の遺跡が眠る》横浜市 田谷町相ノ田谷遺跡

田谷町相ノ田谷遺跡は横浜市域の南西部、柏尾川の支流である関谷川の左岸、河岸段丘上の斜面地に立地し、J R 東海道線・横須賀線の大船駅から、北西約2kmに所在します。調査地は現在の地形が雛壇状に形成されており、上・中・下段として調査区を設定しています。



C3号・4号竃状遺構



奈良・平安時代遺構群とトレンチ調査状況

奈良・平安時代～中世の地層から出土した木製品たちです。

糸巻き状の製品や下駄、陽物(ようぶつ)が出土しています。
陽物は多産、豊穡などをもたらす呪術的な意味の形代です。

今回の調査では、近世(江戸時代)と中世後半(戦国時代)、奈良・平安時代～中世前半(鎌倉・室町時代)、弥生時代～古墳時代の遺構と遺物、そして縄文時代の遺物を発見しました。これらの遺構群は、緩斜面上に展開した耕作地等としての様相を呈し、更に下層に向けた調査では、粘質土と砂質土が互層となって堆積している中から、奈良・平安時代～中世の木製品や弥生～古墳時代の遺構・遺物を発見しています。市内南西部では類例の少ない遺跡の発掘調査事例として、遺跡の南側約300mの地点に所在する、横浜市の地域登録史跡「田谷の洞窟」とともに、田谷町周辺の地域史を考える上で重要な資料として評価できるものです。